
平成 1 9 年 第 3 回 臨時会

上富良野町議会会議録

平成 1 9 年 7 月 2 0 日

上富良野町議会

目 次

第1号（7月20日）

○議 事 日 程	1
○出 席 議 員	1
○欠 席 議 員	1
○遅 参 議 員	1
○早 退 議 員	1
○地方自治法第121条による説明員の職氏名	1
○議会事務局出席職員	1
○開 会 宣 言・開 議 宣 告	2
○議会運営等諸般の報告	2
○日程第 1 会議録署名議員の指名の件	2
○日程第 2 会期決定の件	2
○日程第 3 報告第1号	2
○日程第 4 議案第1号	4
○閉 会 宣 告	7

平成19年第3回上富良野町議会臨時会付議事件一覧表

議案 番号	件 名	議決月日	結 果
1	財産取得の件（上富良野中学校教育用コンピュータ）	7月20日	原案可決
	報 告		
1	議員派遣結果報告の件	7月20日	報 告

平成19年第3回臨時会

上富良野町議会会議録（第1号）

平成19年7月20日（金曜日）

○議事日程（第1号）

- 第 1 会議録署名議員の指名の件
第 2 会期決定の件 7月20日 1日間
第 3 報告第1号 議員派遣結果報告の件
第 4 議案第1号 財産取得の件（上富良野中学校教育用コンピュータ）
-

○出席議員（18名）

- | | | | |
|-----|-------|-----|--------|
| 1番 | 清水茂雄君 | 2番 | 徳島稔君 |
| 3番 | 岩崎治男君 | 4番 | 梨澤節三君 |
| 5番 | 小野忠君 | 6番 | 米谷一君 |
| 7番 | 岩田浩志君 | 8番 | 吉武敏彦君 |
| 9番 | 米沢義英君 | 10番 | 仲島康行君 |
| 11番 | 中村有秀君 | 12番 | 金子益三君 |
| 13番 | 村上和子君 | 14番 | 長谷川徳行君 |
| 15番 | 向山富夫君 | 16番 | 渡部洋己君 |
| 17番 | 西村昭教君 | 18番 | 中川一男君 |
-

○欠席議員（0名）

○遅参議員（0名）

○早退議員（0名）

○地方自治法第121条による説明員の職氏名

- | | | | |
|------|-------|--------|-------|
| 町長 | 尾岸孝雄君 | 副町長 | 田浦孝道君 |
| 教育長 | 中澤良隆君 | 会計管理者 | 佐藤憲治君 |
| 総務課長 | 北川雅一君 | 教育振興課長 | 前田満君 |
-

○議会事務局出席職員

- | | | | |
|----|--------|----|-------|
| 局長 | 中田繁利君 | 主査 | 大谷隆樹君 |
| 主事 | 廣瀬美佐子君 | | |

午前 9時00分 開会
(出席議員 18名)

開会宣告・開議宣告

議長(中川一男君) ご出席まことにご苦勞に存じます。

ただ今の出席議員は18名であります。

これより平成19年第3回上富良野町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程はあらかじめお手元に配布したとおりであります。

議会運営等諸般の報告

議長(中川一男君) 日程に入るに先立ち議会運営等諸般の報告をいたさせます。

事務局長。

事務局長(中田繁利君) ご報告申し上げます。

今臨時会は7月17日に告示され、同日、議事日程等の配布をいたしました。

今臨時会の会期、日程等その内容はお手元に配布の議事日程のとおりであります。

今臨時会に提出の案件は、町長から提出の議案第1号の1件であります。議員派遣結果について、議会運営委員長から報告がありました。

今臨時会の議案説明のため、町長以下関係者の出席を求め、別紙配布のとおり出席いたしております。以上です。

議長(中川一男君) 以上をもって、議会運営等諸般の報告を終わります。

日程第1 会議録署名議員の指名の件

議長(中川一男君) 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、議長において、

7番 岩田浩志君

8番 吉武敏彦君

を指名いたします。

日程第2 会期決定の件

議長(中川一男君) 日程第2 会期決定の件を議題といたします。お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思

います。

(「異議なし」の呼ぶ者あり)

議長(中川一男君) ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間と決しました。

日程第3 報告第1号

議長(中川一男君) 日程第3 報告第1号、議員派遣結果の件について報告を求めます。

議会運営委員長向山富夫君。

議会運営委員長(向山富夫君) 上程いただきま

した議員派遣結果報告をさせていただきます。報告に先立ちまして、この16日に発生いたしました新潟県中越沖地震に際し、犠牲になられました方々に対し心からご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災されました皆様に対しましても心よりお見舞い申し上げる次第であります。活火山をもつ町にとりましても、災害に対する日々の備えに対しまして改めて思いをいたす所であります。それでは只今からご報告申し上げますが、その内容につきましては既に報告書をご高覧いただいておりますことから、ただいまはその要点のみご報告を申し上げます。

報告第1号。議員派遣結果報告書。平成19年第2回定例町議会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告いたします。議会運営委員長 向山富夫。

記。
1、北海道町村議会議長会主催の全道議員研修会及び先進市町村行政調査。

(1) 調査及び研修の経過。

本町議会は、平成19年7月3日から7月4日まで、15名により北海道町村議会議長会主催の全道議員研修会に参加した。また先進市町村である後志支庁管内倶知安町において観光産業の振興について視察調査を行いました。

(2) 調査及び研修の結果。

① 北海道町村議会議長会主催の全道議員研修会。

本研修会では、さわやか福祉財団理事長の堀田力氏が「町村議員に期待する」と題し講演し、各地方自治体では厳しい財政状況の下で議員定数の削減など、いろいろ努力をしているが住民の力をいかに引き出して活用していくかが今後の課題であり、住民が自主的・自発的にまちづくりに取り組んでいる自治体の事例を挙げて紹介しながら、議会の役割については、行政をチェックする時代は終わり、これからは住民の意見を聞く機会を多くつくることによって、住民の知恵と力を引き出してまちづくりを進めていくことが議会の任務であると話されておりました。特に住民と行政が直接対話し、施策に反映させることの重要性を説いていました。また、東京大学名誉教授の大森彌氏は「分権時代の基礎自治体とその議会」と題し、今後は一層、議会の責任が問われる時代となり、改めて議会が本来の役割を果たし、地方政府として分権に対応できる力を持たなければならないことを述べられていました。また、第29次地方制度調査会に諮問をしている「市町村合併を含めた基礎自治体のあり方」について、小規模市町村のおかれている現状とこれらの市町村を合併して人口10万人規模の自治体に整備することの是非等について、広域連合の是非を含め貴重なお話をお聞きしました。

② 先進市町村行政調査。

調査地、後志支庁管内倶知安町。

調査テーマ、観光産業の振興について。

町の概要、面積は261.24km²。人口、平成19年4月末現在で16,006人。

調査の概要。倶知安町は、札幌市から約2時間、後志管内のほぼ中央に位置し、支笏洞爺国立公園、羊蹄山、ニセコ連峰が連なり豊かな自然に恵まれている。冬は道内有数の豪雪地帯でニセコ連峰は格好のスキー場となり、道内はもとより近年は海外からも多くのスキーヤーやボーダーが楽しんでおり、夏もラフティングやカヌーなどが盛んである。

(1) 倶知安町の観光資源の特徴。

東洋のサンモリッツと称される山あい位置する自然豊かなリゾート地として発展し、夏季も体験観光等の試みを行いまして、フォーシーズン型観光地

となっています。また近年では、オーストラリアからの観光客も急増して、国際観光地化しつつある現状でございます。

(2) 観光客の入り込み数。

平成18年度は151万人と年々増加しており、平成18年度の外国人観光客の宿泊延べ数は、91,470人でオーストラリアからの滞在者は70,335人で77%を占めており、毎年増加しているとのことでございます。

(3) オーストラリア観光客増加の理由。

倶知安町に在住しておられますオーストラリア人、ロス・フィンドレーさんの功績が非常に大きく、その他様々な媒体を通じ倶知安町のPRが行われ加えてオーストラリアの好景気などが影響し大きく増加してきております。

(4) ニセコひらふエリアの現況と動向。

コンドミニアムやペンションの建設ラッシュが続く、更に大規模なコンドミニアムやホテルの建設も計画されているとのことでございます。

(5) 受け入れ対応の整備。

これらにつきましては、細かな点にも配慮がなされておりまして、ハードのみならずソフト面での整備も充実しております。

(6) 今後の課題。

名実共に国際観光リゾート地としての確立を目指すこと。他産業と連携して地域経済の活性を図ること。新たな観光産業の創出・拡大などを挙げておられました。

最後にまとめといたしまして、倶知安町の産業は観光と農業が中心で、また、第11師団を中心とした部隊が常駐する駐屯地もあり、本町に比べ人口は4千人程度多いが、本町と似た町の構造であります。近年、オーストラリアからの観光客の増加に伴い、ひらふ地区にコンドミニアムやペンションが新設されて、活況であるということで視察をさせていただきましたが、町もソフト事業を主体に様々な態勢整備を図っているとの説明をお聞きし、更に現地の高級コンドミニアムを視察させていただきました。

一方、倶知安町の財政でございますが、平成19年度の一般会計予算は、62億4,000万円の本町とほぼ同額であります。町税は19億円と本町の約2倍であります。その内訳は、個人町民税が7億

6, 300万と記載されておりますが、6億2, 800万でございます。大変申し訳ございません。法人町民税が1億3, 500万。あわせて7億6, 300万円。固定資産税が8億2, 300万。本町は3億8, 700万で約2.1倍でございます。このように観光客の増加が固定資産税の増につながり、町が一体となりまして活性化を図っていることは、大変特筆すべきことでありまして、俱知安町は町の自然環境や条件などで本町と類似点が多く、今後の本町の観光施策を展開していく上で参考に資する点が多々ありましたことを申し上げ、以上で報告とさせていただきます。お認め下さいますようよろしくお願い申し上げます。

議長（中川一男君） ただいまの報告に対し、ご質疑があれば賜ります。

（「なし」と呼ぶものあり）

議長（中川一男君） ご質疑がなければこれをもって議員派遣結果の報告を終わります。

日程第4 議案第1号

議長（中川一男君） 日程第4 議案第1号財産取得（上富良野中学校教育用コンピュータ）の件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

教育振興課長。

教育振興課長（前田満君） ただいま上程されました日程第4、議案第1号、財産取得の件、上富良野中学校の教育用コンピュータ整備につきまして提案の理由をご説明申し上げます。

本町における各小中学校のコンピュータ整備につきましては、文部科学省の整備方針に基づきまして、本年度から順次計画的に更新整備を進めているところであります。上富良野中学校の教育用コンピュータにつきましては、平成10年度に整備いたしましたが、現在の教育教材などを活用しての授業にはパソコンの能力に限界が生じていると共に、最新のOSへの更新が不可能であり、ウイルス対策や外部からの進入にも対処できず根本的な更新が必要となっており、早急な対策が望まれていたところから、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により更新整備を行うものでございます。整備内容につきまして

は、パソコン教室用コンピュータ42台を更新すると共に新規としまして、普通教室及び特別教室用として11台、教務用として11台、図書室用として1台の合計65台のパソコン購入を主に附属機器としてネットワークサーバーの構築、及びセキュリティー対策の構築とA1サイズ対応プリンター、プロジェクタースクリーン、ネットワークハードディスク、授業管理用ソフト、LAN敷設等であります。さらに将来町図書館とのネットワークを構築する為、図書管理システムの導入を図るものであります。この入札にあたりましては、パソコンを取り扱う町内業者5社と町外業者5社の計10社を指名いたしました。町内業者3社が入札参加を辞退し7社により7月11日入札を行った結果、株式会社コンピューター・ビジネスが1,024万円で落札し消費税を加算いたしまして、本議案の1,075万2千円でございます。参考までに2番札は、株式会社ゆあさの1,030万円でございます。以下議案を朗読しまして提案の理由にかえさせていただきます。

議案第1号、財産取得の件。

上富良野野中学校教育用コンピュータを次により取得するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求める。

記。

- 1、取得の目的、上富良野中学校教育用コンピュータ。
- 2、取得の方法、指名競争入札による。
- 3、取得金額、1,075万2千円。
- 4、取得の相手方、旭川市緑が丘東1条4丁目2番14号。株式会社コンピューター・ビジネス、代表取締役社長 関 仁。
- 5、納期、平成19年9月30日。

以上でございます。ご審議いただきご議決賜りますようお願い申し上げます。

議長（中川一男君） これをもって提案理由の説明を終わります。質疑に入ります。9番米沢義英君。

9番（米沢義英君） 何か質問させていただき。まず第1点目には、このコンピュータを教育教材として活用するということですが、現場ではどういう教育実習のなかで生徒あるいは先生が活用されているのか、この点をお伺いしておきたいと思っております。次に保守点検については、この契約の

中に含まれているのかどうか、この点2点目お伺いいたします。今後現場の先生方が使いやすいように当然意見も聞いてこれが整備されているかというふうに思いますが、そういうことがなされないなかで整備されているということはないとは思いますが、そういった現場の意見を充分反映されたなかで整備されているのかどうか、この点3点目お伺いしたいというふうに思います。

議長（中川一男君） 教育振興課長答弁。

教育振興課長（前田満君） 米沢議員の質問にお答えさせていただきます。まず最初の活用の内容についてであります。基本的には、技術家庭科の教育の中での情報とコンピュータという形のなかでそれぞれ取り扱いですとか、それからそういう形をまず基本的に身につけようと。さらにそれを利用して総合的な学習ですとか、あるいは美術ですとかいろんな教科のなかで目的意識、それから課題意識をもってですね、様々な情報媒体ですか、そういうなかからインターネットですとかそういうものを利用した形のなかで情報収集ですとか、あるいはその情報活用さらには自分で自ら情報を創造、要するに例えばイラストを作ったりとか、そういう形のなかでインターネットの発信も含めてそういうのに活用しているのが主な内容であります。具体的には先ほど言いましたようにイラスト作成とかにも使えますし、我々が考えている、想像している以上の逆に言えば、活用が図られるという事でお聞きしております。次の2点目保守点検でございますけれども、基本的には保守点検の内容の契約は結んでございません。ただ、当然パソコンの購入でございますので、クレーム期間ですとかそういうものは自然と付いてくるものという形のなかで保守の契約は、保証ですとかそういうのは一般民法上の契約期間ですとか、そういう形のなかで進めているところでございます。保守点検につきましては、来年度以降の話になろうかと思っておりますけれども、基本的にはこれはソフトですとか、そういう部分が主な内容でありますので、逆に毎年点検をしてその性能を維持するとかということではなくて、あくまで内容としては、もしすれば例えばLANの敷設の接続状況ですとか、そういう単純なものでありますので、あえて保守点検を締結してまでの保守は必要はないということで判断してござい

ます。それから導入にあたっての現場との対応でございますけれども、実はこれ昨年の12月以前当然予算措置の状態の時から上富良野中学校の教職員と、もちろん教職員のなかにもコンピューターに詳しい先生、詳しくない先生がいらっしゃいますのでそういう方たちも含めて協議をさせていただいて、必要な台数、それから各配置の機種ですとか、パソコンの容量ですとかそういうものもすべて各学校とすりあわせを行いながら本計画を確立して発注に至っております。以上でございます。

議長（中川一男君） よろしいですか。他にございますか。11番中村有秀君。

11番（中村有秀君） まず1点目は、町内業者が5社指定をして2社がということでございます。したがってこの2社の何番札で入れたかということ、入札金額を教えていただきたい。次に各学年でこの教科の時間が1年生はどれぐらい、2年生はどれぐらい、3年生はどれぐらい活用されているのかということでお伺いをいたしたいと思っております。以上でございます。

議長（中川一男君） 教育振興課長答弁。

教育振興課長（前田満君） まず1点目の町内5社のうち基本的には2社が入札に参加してございます。町内の業者の入札額ということでご質問だと思いますが1社につきましては、1,280万円、もう1社につきましては、1,600万円の入札がございました。続きまして授業時間の単位でございますけれども、それぞれ各学年において授業課程を組みながら進んできておりますけれども、1週間に何時間とか月に何時間というのは、実は私どもも把握はしてございませんけれども、そういう形のなかで計画的な形のなかで授業は進めているということで学校と確認を取っております。以上でございます。

議長（中川一男君） よろしいですか。他にございますか。4番梨澤節三君。

4番（梨澤節三君） 2点ほどお尋ねします。このコンピュータ教育というのはですね、基礎的なところを学ぶものであろうと思っております。何か機能が変わったから機能を追及して換えるんだということにも受け止められるんですよ。その辺のところは第1点ですね。それともう1点は、これはリースでできないのか。リースでやった場合はいくら、それから買

えばこういう金額ですよ。リースでやったらいくらになるかその辺お尋ねをいたします。

議長（中川一男君） 教育振興課長答弁。

教育振興課長（前田満君） まず1点目の機能の関係でございますけども、コンピュータの進化の著しき、それから昨今の教育教材の用途のなかで、基本的には10年前に購入しているパソコンそのもの自体は、それこそハードディスクの容量が例えば2ギガバイト程度、要するに少ない容量のなかでの設備のなかで教育を図ってきた。さらにその教育の材料についてもそれにあわせたような状況で進めてきております。ただ昨今の情報量の多さ、そういうものを対応した時に当然旧システムから新システムへの移行、OSの移行なんですけど、基本的なシステムの移行なんですけども、そうした場合どうしても容量自体が大きくなってしまいます。そういうかたちのなかでは、今までのシステム自体はWindows 98というシステムを使っているんですけども、その98のシステムのなかではもう対応しきれないような情報量、あるいは情報システムのかたちが出来上がってきているという状況のなかでは、なかなか容量を増大していかなければ対応はできなくなっているというのが状況にあります。そういう意味も含めて機種更新というかたちを今回とらせていただいております。それからリースの検討でございますけども、基本的には先ほど議案説明のなかでも申し上げましたように、防衛庁の特定防衛施設周辺整備事業という交付金事業のなかで整備計画を樹立してございますので、購入をということで検討しております。リースについての試算ですとかは行っていないということでご理解いただきたいと思いません。以上でございます。

議長（中川一男君） 4番梨澤節三君。

4番（梨澤節三君） コンピュータの機能追及でいくとこれね、宇宙ロケットあすこが入るようになるんだわね。すべてがね。私は教育者じゃないからどうだということにはならないんだけど、中学生としてのどの範囲だというものを確立をしてやらなければ、家電製品と同じで振り回されてしまって3年ごとに100万円したテレビが今10万円台になっているような、そして次のものについているというそういうものに振り回されるんじゃないかなという

感じを持つんですがいかがでしょうか。防衛庁周辺施設ということで買うんだということでですね、それが必ずしも私はいいい事ではないと思うんですよ。国から金があるからこれでやるんだという、これは気をつけなきゃならないんだと思うんですよ。活性化とかそういうものにはいろいろ繋がりますけど、今お聞きしてみれば地元にはいってないんですから。そういうのからいくとやっぱり大手あたりはリースで確かやっているはずなんですよ。たいがい今この変化の激しい時だから確かリースでやって私も調べてないから分からないですけど、これは一度調べてまた機会があれば教えていただきたいなというように思いますがいかがでしょう。

議長（中川一男君） 教育振興課長答弁。

教育振興課長（前田満君） 1点目のシステムの関係でございます。基本的には先ほど答弁させていただきましたように、現在使っている機種につきましては、Windows 98というそれこそ10年前の基本ソフトを活用しての通信手段あるいはインターネット等の活用を図っております。ただ現在の通信システムのなかでそれに対応できない状況、システム自体がWindows 2000とかあるいはXPとかそれぞれ更新されてきております。そういうかたちのなかで、今後またこれからの機種についてはWindows 98では対応できないほどのシステムになってきているというかたちのなかで、今回機種を更新して、システムをさらに更新をしていくという考えでございますので、ご理解いただきたいと思います。補助事業につきましては、補助事業ベースのなかで町の支出を少なくして、さらにできる限り新しい情報量のなかで対応するというのを考えますと、基本的には有効な活用というかたちのなかで補助事業を今回利用させていただいているということでご理解いただきたいと思いません。

議長（中川一男君） よろしいですか。他にございますか。

（「なし」と呼ぶものあり）

議長（中川一男君） なければこれをもって質疑、討論を終了いたします。

これより議案第1号を採決いたします。

本件は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「なし」と呼ぶものあり)

議長(中川一男君) ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

閉会宣告

議長(中川一男君) 以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。これにて、平成19年第3回上富良野町議会臨時会を閉会いたします。

午前9時30分 閉会

上記会議の経過は、議会事務局の調製したものであるが、その内容の正確なる事を証するため、ここに署名する。

平成 1 9 年 7 月 2 0 日

上富良野町議会議長

中 川 一 男

署 名 議 員

岩 田 浩 志

署 名 議 員

吉 武 敏 彦